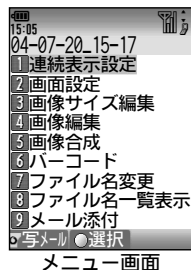
画像の編集

データフォルダ内の画像（静止画）に対しての画像編集や画像合成などは、編集する画像を表示し（☞P.12-6操作1～3）、（メニュー）を押したあとのメニュー画面から操作します。

- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

メニュー画面

画像を拡大／縮小する

画像の拡大／縮小は、画面の中心を基点にして行います。

1 メニュー画面で、「3画像サイズ編集」を選び、◉を押す。

2 「1拡大縮小」を選び、◉を押す。

ディスプレイ下部左に「移動」が表示されます。表示されていないときは、（リサイズ）を押します。

- 画像表示中に（リサイズ）を押しても、同様に操作できます。

拡大／縮小の中心を変更する

- （移動）を押します。このあとで、拡大／縮小の中心となる位置を、画面の中央部に移動します。
- ボタンを押している間、画像が移動します。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上移動できない位置まで移動すると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

リサイズモードに戻るとき

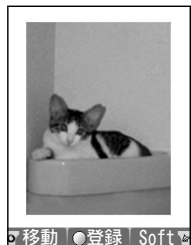
- 画像を移動したあと、（リサイズ）を押します。

3 （拡大）または（縮小）で、画像のサイズを変更する。

ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■ 画像をなめらかにする：（Soft）

移動 ●登録 Soft

- 拡大により画面からはみ出した（表示されていない）部分は、登　時に自動的に消去されます。
- 拡大／縮小後に、（移動）を押し移動モードにしたときは、拡大／縮小した結果は破棄され、元の大きさに戻ります。

4 ◉を押す。

サイズ変更した画像が新しい画像として登　されます。

画像サイズを変更する

データフォルダに登　されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更します。

- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。
- 画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。
- 画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。

固定サイズに変更する

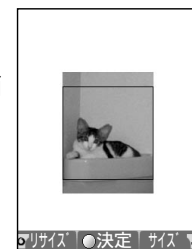
1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「3画像サイズ編集」を選び、◉を押す。

2 「2画像サイズ修正」を選び、◉を押す。

- 「画像サイズ修正」が選択できない画像は、利用できません。

3 「1壁紙用」～「5アラーム時表示用」のいずれかを選び、◉を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（利用できない画像は表示されません。）

壁紙用	横240×縦320ドット
写メール用	横120×縦160ドット
パワー ON/OFF用	横120×縦130ドット
着信時表示用	横120×縦38ドット
アラーム時表示用	横120×縦51ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：（サイズ）

4 *画像の表示範囲を指定するとき*

1 で表示範囲を指定し、◉を押す。

- 画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。

画像を拡大縮小するとき

1 （リサイズ）を押す。

ディスプレイ下部左に「移動」が表示されます。

2 （拡大）または（縮小）でサイズを変更し、◉を押す。

5 ◉を押す。

サイズ変更した画像が新しい画像として登　されます。

サイズを自由に変更する

1 **メニュー画面（☞P.12-14）で、「3画像サイズ編集」を選び、◉を押す。**

2 **「2画像サイズ修正」を選び、◉を押す。**

●「画像サイズ修正」が選択できない画像は、利用できません。

3 **「6自由切出」を選び、◉を押す。**

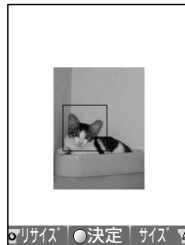
画像が表示されます。（「＋」表示）

4 **◎で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、◉を押す。**

5 **◎で「＋」を切り出す部分の右下に移動する。**

■ 指定のやり直し：（戻る）➡操作4からやり直す

6 **（完了）を押す。**

■ 画像サイズ選択のやり直し：（サイズ）
■ 以降の操作：☞P.12-15操作4以降

画像に文字／マーカーを入力する

●マーカースタンプが利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。

1 **メニュー画面（☞P.12-14）で、「4画像編集」を選び、◉を押す。**

2 **「1マーカースタンプ」を選び、◉を押す。**

●「マーカースタンプ」が選択できない画像は、利用できません。
■ 文字色の設定：「7文字色設定」選択➡◉➡色選択➡◉
■ 文字を縁取らない：「8縁取り設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

注意 PNG形式の画像は、「文字色設定」および「縁取り設定」は利用できません。「白文字（黒フチ）」となります。

3 ***文字を入力するとき***

1 **「1文字」を選び、◉を押す。**

2 **文字を入力し、◉を押す。**

●最大全角8文字（半角16文字）まで入力できます。
●バーコードの読み取りを利用して、文字を入力することはできません。
■ 文字入力のやり直し：（戻る）➡操作1からやり直す
■ 文字色の変更、縁取りのON／OFF：1～9、0（押すたびに切り替わります。）

マーカーを付けるとき

1 **マーカーの種類を選び、◉を押す。**

■ マーカーの変更：（戻る）
■ 文字色の変更、縁取りのON／OFF：1～9、0（押すたびに切り替わります。）

4 **◎で文字やマーカーを付ける位置を指定し、◉を押す。**

5 **「1YES」を選び、◉を押す。**

■ 文字／マーカーの追加：「2マーキング」選択➡◉➡（メニュー）➡操作3～5をくり返す
■ 画像の確認：「3画像確認」選択➡◉
■ 編集の取消：「4編集キャンセル」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

6 **「1編集完了」を選び、◉を押す。**

7 **「1YES」を選び、◉を押す。**

編集した画像が新しい画像として登録されます。

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

●画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式です。連写画像も装飾できます。
●装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）

1 **メニュー画面（☞P.12-14）で、「4画像編集」を選び、◉を押す。**

■ 連写画像の装飾：「2連写画像装飾」選択➡◉➡操作3へ

2 **「2画像装飾」を選び、◉を押す。**

●「画像装飾」が選択できない画像は、利用できません。

補足 連写フォルダ内の連写画像を装飾すると、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の1枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登録してから操作してください。

3 **装飾の種類を選び、◉を押す。**

●次の装飾が行えます。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光輝部を十字に輝かせる効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現
万華鏡	万華鏡のような効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
線検出	線で描いた絵のような効果を表現
アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

4 **◉を押す。**

装飾した画像が新しい画像として登録されます。

注意 画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わります。装飾された画像が登録できないことや、メール送信できないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工し楽しめます。
（フェイスアレンジ）

- フェイスアレンジが利用できる画像は、JPEG形式です。
- フェイスアレンジには、正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。
- フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工を施します。そのため、画像内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。
  また、次のようなときは、うまく加工できないこともあります。
  ■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など
- 画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを指定して加工することもできます。
  （☞P.12-19）

1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「4画像編集」を選び、◉を押す。

2 「3フェイスアレンジ」を選び、◉を押す。

- 「フェイスアレンジ」が選択できない画像は、利用できません。

3 アレンジの種類を選び、◉を押す。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ アレンジのやり直し：（戻る）

4 ◉を押す。

アレンジした画像が新しい画像として登　されます。

フェイスアレンジを行った画像をロングメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

あらかじめ設定されている顔パーツの位置が、加工する画像の顔とずれているときに、位置や大きさを調整します。

- 顔パーツは画像ごとに調整して登　します。
- P.12-18操作2のあと、次の操作を行います。

1 「顔抽出確認」を選び、◉を押す。

現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 （修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

で顔の輪郭の左上に「＋」を移動 → で顔の輪郭の右下に「＋」を移動 → 顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：（戻る）

4 右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。

- 画面上部のガイドに従って、操作3と同様に操作します。

右目の位置を指定 → 左目の位置を指定 → 口の位置を指定

5 指定が終われば、（完了）を押す。

指定した顔パーツがすべて表示されます。

■ 顔パーツの指定のやり直し：操作2からやり直す
■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：（リセット）

6 ◉を押す。

7 「1YES」を選び、◉を押す。

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像として登　されます。

- このあと、新規登　した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

その他の画像編集

- 編集する画像を表示し、（メニュー）を押したあとのメニュー画面（☞P.12-14）で操作します。
- 各機能が選択できない画像は、画像編集できません。

フレーム　JPEG形式の画像にフレームを付けることができます。

メニュー画面で「4画像編集」選択➡◉➡「4フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉

- フレームの確認：フレーム選択➡（表示）
  - フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと、（戻る）
- 編集後の画像登　：上記操作のあと◉

連写画像の利用

メニュー画面で「3連写フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉

- フレームの確認：フレーム選択➡（表示）
  - フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと、（戻る）
- 編集後の画像登　：上記操作のあと◉

補足　連写画像にフレームを付けると、連写画像内のすべての画像にフレームが付きます。連写画像内の1枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登してから操作してください。

ムービングフォトフレーム　JPEG形式の画像に、内蔵の動くフレームを付け、アニメーション風に仕上げます。

メニュー画面で「4画像編集」選択➡◉➡「5ムービングフォトフレーム」選択➡◉➡フレーム選択➡◉

- ムービングフォトフレームの確認：フレーム選択➡（表示）
  - ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：上記操作のあと、（戻る）
- 編集後の画像登　：上記操作のあと◉
- 作成したアニメーションは、「E-アニメータ」（.nva）形式で登　されます。

補足　ムービングフォトフレームのサイズは、横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心にムービングフォトフレームが付きます。うまく加工できないときは、フレームの種類に応じて画像のサイズを変更したり、お好みのサイズに切り出してご利用ください。（☞P.12-15）

画像回転　画像の向きを回転させることができます。

メニュー画面で「4画像編集」選択➡◉➡「690度回転」選択➡◉

- このあと（回転）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。
- 編集後の画像登　：上記操作のあと◉

保存形式変換　画像の形式をJPEG形式（「」表示）、PNG形式（「」表示）に変更します。

メニュー画面で「保存形式変換」選択➡◉➡保存形式選択➡◉

- 保存形式変換できるのは、120×160ドット以下の画像です。
- 変換前と同じ保存形式は、選択できません。

保存形式を変更すると、画質が変わることがあります。

画像の合成

分割画像を作成する

最大4枚の縮小した画像を1枚の画像内に配置し、右のような分割画像を作成します。

- 分割画像で利用できる画像は、JPEG形式です。連写画像も利用できます。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。

1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「5画像合成」を選び、◉を押す。

2「1 4分割画像作成 120×160」または「2 4分割画像作成 240×320」を選び、◉を押す。

- 分割画像の左上に配置する画像を選んで操作してください。

3 ファイル名を入力し、◉を押す。

- 全角16文字（半角32文字）以内で、必ず入力してください。
- ファイル名の修正：ファイル名選択➡◉

4 番号を選び、◉を押す。

5 画像を選び、◉を押す。

選んだ画像が表示されます。（利用できない画像は選択できません。）

- 画像の変更：（変更）➡データフォルダ画面へ
- 指定する番号から選び直し：（戻る）
- 連写画像内の1枚の画像の利用：連写画像（「」表示）選択➡◉➡で画像選択➡◉

6 ◉を押す。

分割画像用の画像として指定されます。